

経済学研究科

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、経済学研究科は、世界最先端の経済学・経営学の知識を体系的に習得するための忍耐力と論理的思考能力、専門知識を実践に応用する上で必要とされる教養に対する旺盛な知的好奇心、未解決の問題に対して糸口を見つけ解決への道筋を自らのアイデアで作りに上げていくデザイン力、さらには、英語力を含むコミュニケーション能力の素養をもった人材を求め、多様な方法によって選抜します。

- (1) 博士前期課程の選抜においては、経済学および経営学に関する知識、数学や統計学等の分析手法の習得度、そして英語力を筆記試験によって判定します。また、入学願書とともに提出される研究計画書にもとづいた口頭試問を行うことによって、志望する分野において必要とされる基礎的な能力を備えているか、修士論文作成に対する意欲と展望をもっているか、さらには、論理的思考能力、知的好奇心、デザイン力、そしてコミュニケーション能力をもっているか否かを判定します。
- (2) 博士後期課程については、最先端の知識をもった研究者の育成が中心となるため、選抜に際しては、博士前期課程で身に付けた知識や分析手法の習得度、論理的思考能力、研究成果を海外へ発信するための英語力について、口頭試問によって判定します。さらに、入学願書とともに提出される修士論文（あるいは、それに代わる研究論文）と研究計画書を評価することによって、博士論文作成に向けた研究テーマの学術的発展性と学生の研究遂行能力を判定します。